

ニュージーランド産エンヴィ・リンゴが世界市場へ

[The Packer 2024年4月9日](#)

T&Gグローバル社のプレミアムブランドである「エンヴィ」リンゴの今シーズンの第一便が、ニュージーランドを出発し、中国に向かった。

ニュースリリースによると、2024年にニュージーランド全土で見込まれるエンヴィの収穫量はこれまでで最大で、今シーズンは60カ国の取引先に290万箱相当(TCE)、すなわち2億500万個のリンゴが輸出される見込みである。

これにより、2023-24年度シーズンに北半球と南半球の13カ国で栽培されたT&Gグローバル社のエンヴィブランドのリンゴの総量は880万TCE、すなわち7億個以上となると同社はしている。

同社の国際営業販売部長であるシェーン・キングストーン氏はリリースで、「過去15年間で、エンヴィは中国、台湾、香港、タイなど世界の主要市場で、重要なプレミアムリンゴブランドの1つに成長し、近年では米国とベトナムで2桁の成長を遂げた。今シーズンの果実は色、大きさ、糖度が素晴らしく、これまでで最高の部類になりそうだ。今後数年間でホークスベイ、ギズボーン及びネルソンの各地方の新植園地が成園化してくるため、エンヴィの出荷量は増加を続けると見られる」と述べている。

同社は、南北両半球での産地多極化戦略に多額の投資を行っており、ニュージーランド全土のリンゴの出荷シーズンは、北半球のリンゴのシーズンを補完し、高品質のエンヴィに対する消費者の需要に一年中応えている。リリースは、世界の1万2,400エーカー(約5千ヘクタール)以上でエンヴィが栽培されているとしている。

同氏はリリースで、「今年の北米産のエンヴィは特別で、国内で販売されたほか、アジアにも輸出された。米国は競争の激しい重要な市場であり、ウォルマート、コストコ、セーフウェイ、クローガー、サムズクラブなどのスーパーマーケットの約70%にエンヴィが置かれているのは素晴らしいことだ」と述べている。

訳注: この翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません

台湾産パイナップルの輸入をニュージーランドが承認

[FOCUS TAIWAN 2024年4月9日](#)

台北、4月9日(CNA) 台湾とニュージーランドは火曜日(9日)に政府間協定に署名し、台湾産パイナップルのニュージーランドへの輸出が承認された。(以下は、台湾農業部(MOA: 農業省に相当)による説明)

この協定は農業部動植物防疫検疫署、衛生福利部食品薬物管理署及びニュージーランドの第一次産業省の代表者によって署名された。

台湾産パイナップルをニュージーランドに輸出する計画は2017年に開始された。ニュージーランドは輸出を承認するため、台湾産パイナップルの栽培方法、栽培環境、パイナップルがさらされている生物的脅威の種類、及び果実の収穫後処理に関する詳細な資料と関連する統計を要求した。

この協定では、一定の管理条件下で栽培されたパイナップルのみがニュージーランドに輸出できる可能性がある。それらの果実は、成熟過程の果実の外側がまだ緑色の段階で収穫し、冠芽(クラウン)を取り除かなければならない。さらに、台湾のパイナップル生産者は毎年輸出シーズンに研修を受け、生産のすべてに関する記録を当局が確認できるように備えなければならない。

輸出衛生検査では、汚染物質や有害な生物がニュージーランドに持ち込まれないことを確認するために、600個の果実が検査対象として選ばれることとなっている。

ニュージーランドへの輸出により、カナダ、日本、韓国、オーストラリア、アラブ首長国連邦などの国々で既に国際的に販売されている台湾産パイナップルの販路がさらに拡大する。(以下省略)

執筆者: ウー・シンユン、ジャームス・ロー